第 105 回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成 26 年 4 月 14 日提出）

ポートフォリオ解説会

【趣　旨】

来年度から本学でも学生のラーニング・ポートフォリオが導入されます。そこで、国内有数の先進事例である佐賀大学から講師を招き、ポートフォリオの意義と留意点を報告していただき本学での運用の参考に供します。

【対　象】　全教職員、主に評価・FD 教育改善専門部会委員

【日　時】　平成 26 年 3 月 10 日（月）14:30～15:30

【場　所】　長崎大学文教キャンパス　事務局 3 階　第 2 会議室

【講　師】　佐賀大学大学院工学系研究科　教授　皆本晃弥氏

【主　催】　教務委員会

【企画・実施】　評価・FD 教育改善専門部会

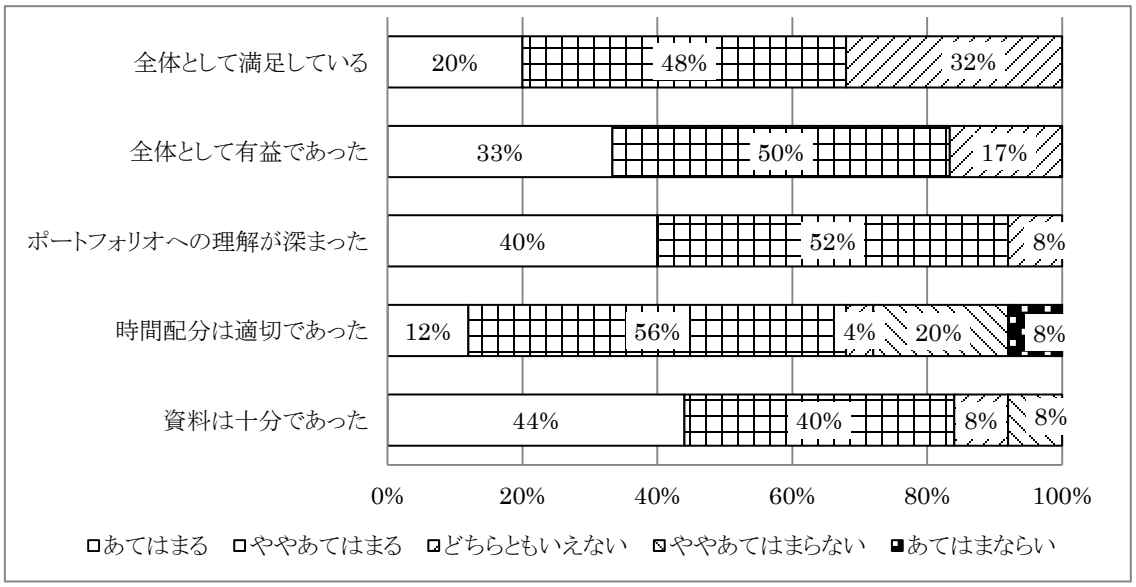
【参加者】

32 名（受講証発行対象者：31 名（途中入出者 1 名を除く））

所　　属	人　数
教育学部	3
経済学部	3
医歯薬学総合研究科(医系)	1
医歯薬学総合研究科(保系)	3
医歯薬学総合研究科(歯系)	1
医歯薬学総合研究科(薬系)	1
病院	3
工学研究科	6
水産･環境科学総合研究科(環境)	6
水産･環境科学総合研究科(水産)	1
情報メディア基盤センター	2
国際教育リエゾン機構	1

多文化社会学部設置準備室	1
計	32

【参加者からの評価】（回答者：26 名）



○ ポートフォリオに関して、何か疑問点や感想、ご意見がありましたら、ご記入下さい。

- 本学の方向性が十分示されていない中での講演であったが、大変参考になった。
- テクニカルな話はいらない。もっと本質的というかコンセプトの部分で試行錯誤した部分が聞きたかった。
- ポートフォリオ記載項目の自由度ＵＰを。
- 長崎大学で導入を予定しているポートフォリオの目標がよくわからない。
- 導入にはもっと時間をかけるべきではないでしょうか。
- 意義には納得できたが、導入にはかなり時間が必要だと実感した。
- いつできるのか？本当に工学部はコースごとにできるのか？回答がコースレベルに来ていない。
- ＬＰもＴＰも具体例を示して頂ければより判りやすいと思います。
- 長崎大学においても、何人かの先生に先行してＴＰを作成してもらってはどうか。
- 学生がどの程度積極的にＬＰに参加するのか知りたかった。
- ボトムアップが必要。
- ポートフォリオを全学で実施するならば教員の十分な理解が必要ですので配慮してください。

○ 今回の運営に関して、何か感想やご意見がありましたら、ご記入下さい。

- 折角の機会なので時間が足りなくて残念でした。
- ラーニング・ポートフォリオの意義をもっと聞きたかった。
- 時間が短すぎです。

【総　括】

外部から講師を招いてのポートフォリオに関しての初めてのFDなので,参加者の関心が高かった。佐賀大学におけるティーチングおよびラーニング・ポートフォリオに関しての実施経過の説明であり，本学のラーニング・ポートフォリオ導入およびティーチング・ポートフォリオ検討に際して非常に役立つものであった。

参加者からの評価は，満足度，有益度およびポートフォリオへの理解度共に「あてはまる」および「ややあてはまる」がそれぞれ約70，80および90%と高かった。

一方で，アンケートでは，「テクニカルな話はいらない。もっと本質的というかコンセプトの部分で試行錯誤した部分が聞きたかった。」，「ＬＰもＴＰも具体例を示して頂ければより判りやすいと思います。」，「学生がどの程度積極的にＬＰに参加するのか知りたかった。」，「ラーニング・ポートフォリオの意義をもっと聞きたかった。」といった講演内容に関しての強い要望があった。

他方，本学でのポートフォリオ導入関連へも参加者の思考が及んだようで，同時にアンケートでは，「本学の方向性が十分示されていない中での講演であったが、大変参考になった。」，「長崎大学で導入を予定しているポートフォリオの目標がよくわからない。」，「意義には納得できたが、導入にはかなり時間が必要だと実感した。」，「ポートフォリオを全学で実施するならば教員の十分な理解が必要ですので配慮してください。」等の記載が目立った。

運営に関しては，「折角の機会なので時間が足りなくて残念でした。」および「時間が短すぎです。」という意見がそれぞれアンケートであったが，全体的には，時間配分および資料に関して約70%および80%と高い評価結果が得られた。

講演後の質疑時間では，ティーチング・ポートフォリオだけでなく，ラーニング･ポートフォリオの実施状況に関しても具体的な質問が行われていたが，講演の内容が豊富であり，質問の時間を充分に取れなかったのが残念である。今後は，講演者との事前の打ち合わせを充分に行う必要があると感じた。

（文責:黒川不二雄，野崎剛一）